

## まちセミ・IZUMI 2025 反省会議事録

日時 2025年11月8日(土) 10時00分~12時00分

場所 アイ・あいロビー

出席者 佐藤、佐近、嶋田、田中、森本、新田

- ・苦情の電話：上靴が必要だとどこにも書いてない、と言われた。
- ・教頭先生からの苦情：前日準備で図書室の鍵を中学生が借りに来た。  
誰がそんな指示をしたのか？
- ・普通教室の先生が、クラスの子どもたちの掲示物や作品をカバーしてくださった。  
⇒実行委員会がやってくれるものだと思っておられ、お怒りだった。
- ・11月1日の間際まで、どの教室を使うのかという連絡がなかった、とお怒り。
- ・朝礼を体育館でやることを急遽決めたことが、みんなに伝わってなくて、  
「後手後手ですね」と校長先生がお怒りだった。
  
- ・お茶の販売：10本だけだった。皆さん「持ってきています」という反応だった。
- ・パンフレット200部以上配布した。
- ・参加者数 朝礼：約100人、生徒数：約600人 先生：80人  
ボランティアと実行委員：70人 総数：850人(のべ)
- ・光明台北校区 回覧板が回っていたのが11月3日だった。  
掲示板にもポスターが掲示されていなかった。  
11月1日に幼稚園の運動会があった。
  
- ・学校を借りることの難しさが分かった。(個人情報の保護など)
- ・教室表示は、元のまま(例、1年1組)の方が良かったのでは？
- ・ことわ会の人当日弁当を注文された。(受付してしまった)
- ・弁当のごみはお持ち帰りくださいと最初に明記しておくべきだった。
- ・食べ物の販売場所は受付の近くの方が良かった。
- ・原状復帰をお願いしていたが、現状がわからなかった。次の人につないでほしい。
- ・机が動いていますと言ってきた先生がいた。⇒前日に写真を撮っておくべきだった。
- ・若い実行委員を入れるべき。
- ・当日準備がやることが多くて忙しかった。(前日が雨だったため)
- ・8時からセンセイ受付が始まった。
- ・前日準備の時間は午後7時で切るべきだった。  
最後の人を待っていたが、その人は忘れていたようだった。
- ・先生のオープンチャットに情報を流しすぎて、混乱が生じたので、交流のためだけに使うようにした方が良かった。
- ・センセイ受付の場所がわかりにくかった。
- ・校内の誘導・案内のボランティアがいなかった。
- ・案内が手薄だったので、もっと掲示物が必要だった。

- ・実行委員長や副実行委員長だけが知っていることが多くて、もっと情報共有しておくべきだった。代わりに動ける人を作っておくべきだった。キッチンカーのことも事前に分かっていたら対処できたのに…。
- ・掲示板など、小南さんの頭にだけあって、ほかの人がわからなかった。複数人で考えるべきだった。
- ・授業の感想もいつ・どのように書くのかわからなかった。何度も感想を書かせることになってしまった。
- ・清川さんのドラムの運搬が大変だった。ドラムの授業の時、うるさくてまわりの授業に迷惑をかけた。(時間割作成時にもう少し授業の内容を確認する必要がある)
- ・8時に集合してもらおうボランティアを決めておく必要があった。(特に駐車場係、センセイ受付、ボランティア受付など)
- ・前日、せめて1週間前に最終確認をする必要がある (zoom) でも構わないのでボランティアの事前打ち合わせが必要だった。
- ・8時になってから全ての教室の鍵を順番に開けていくため、実際には8時から準備ができなかった。朝礼の開始時間を9:30 (オープニングを9:20) にすれば、もう少し当日の朝準備時間に余裕ができると思う
- ・シルバーのひとりの人がいい加減だった。
- ・バスの利用者が少なかった。乗り場の事前確認が不十分だった。
- ・シルバー人材センター、送迎バスなど、当日の朝対応する担当者を実行委員長以外に決めて置く必要がある
- ・実行委員長が携帯不携帯で連絡がつかず困った。

日 時 2025年12月13日(土) 16時00分~17時30分

場 所 アイ・あいロビー

出席者 国本、小南、斎藤、石原(さとみ)、森本、野口ちな、多々良、徳満、赤松、浦島、嶋田、芦田(と)、佐近、藤原、佐藤、新田 Zoom 芦田(三)

- ・11月1日の反省会(一か月たったので、忘れてしまったとの声が多かった)  
⇒終わってすぐに反省会をした方が良い。
- ・立て看板：きれいに残っていた。
- ・ポスターボード：オリジナルポスターが楽しかった。
- ・廊下に机といすを置いて良かった。音楽も流していて良かった。
- ・情報が共有されていなくて、準備が大変だった。
- ・最終段階の議事録がなかった。⇒最終打合せ(拡大)を当日間近に行う。
- ・バスの利用者が少なかった。来年は来らないのでは？
- ・音楽室がうるさかった。人も来なかった。
- ・班活動ができていなかった。

- ⇒班のメンバーの再確認が必要。リーダー・サブリーダーも決めてほしい。
- ・初めて参加するまで、ボランティアがやっているとは思わなかった。  
すばらしいと思ったので、もっとボランティアがやっていることを強調した方が良い。
  - ・若い子に手伝ってもらえる何かがあれば良い。
  - ・中学生のボランティアを募集したが、誰も来なかった。
  - ・先生も生徒ももっと関わってほしい。当事者になってほしい。
  - ・youtuber の授業や職場体験、給食、〇〇を探せなど、遊び感覚をもっと取り入れたい。
  - ・埜田さんが大変そうだった。
  - ・駐車場、人手が足りなかった。
  - ・運営について次への捨ステップを考えたい。方向性を見直したい。
  - ・地域の人が聞いてくれることがいいのでは。⇒バックパッカーの人の話は盛況だった。
  - ・人が来ないことは気にする必要は無い。

### ★学校から

- ・中学校からの提供は、どこまですればいいのかよくわからない。
- ・掲示物を隠す布などを貼る予定はなかったのか？  
前日の放課後、個人情報を見ている者をはがしたり、目隠しのために布をはったりと、準備が大変だった。
- ・原状復帰ができていない：机が動かされていた。椅子と机のセットがバラバラになってた。  
定位置から洗濯ばさみはずされて使われてそのまま。カーテンが閉めっぱなし。
- ・放課後、掲示物を隠す作業をしている時に、モニターの使いかたやパソコンの操作のなどを教えるように言われた。

### ★中学校からの要望

- 教室を元通りに復旧してほしい。少なくとも 1-1・1-4 は講座用に動かされた座席のままだった。
- 個人情報漏洩防止作業は、学校がすべきこと？  
準備に来られた方が「たいへんですね」というスタンスで、温度差があった。  
学校が作業しなければ、掲示物はさらされたままだったと思う。  
それでは通らない世の中になっている。
- パンフレットの配布の時点で、担任が気を利かせて生徒に伝えればよかったのかもしれないが、教室の私物を持ち帰らせる連絡が前々日にしかできず、しかも金曜日はひどい雨だったので、生徒たちは大変そうだった。  
実施週の初めに教室について「何をどこまでやるか」を含めて伝えてもらえるとありがたかった。

日 時 2025年11月20日(木) 19時00分～21時00分

場 所 和泉シティプラザ 4F 茶室

出席者 堀田、河崎、的場、嶋田、北村、アサリ、じゅん、奥村、野口(正)、佐近

- ・告知は早く！なるべくたくさん！
- ・子ども向けの授業を増やす
- ・地域(自治会)や福祉関係にも呼びかけて取り込む
- ・生きる力を培う職場体験→夢を叶える、キッズニアやりたい！
- ・中学生3人は連れて来る
- ・先生に授業をやってもらったら生徒が来る
- ・ユーチューバーの授業はどう？
- ・電車の車掌1日体験してもらおう・スタンプラリーはどう？
- ・フーセンで飾り付け頑張る
- ・インパクトのある授業する
- ・センセイやボランティアの人全員と言葉を交わす
- ・先生も地域もひっくるめて巻き込みたい
- ・学校を会場にしてエレベーターがないなど課題も発見できた
- ・作業所など福祉関係にも出店してもらおう・給食したらどう？
- ・中学生にアンケート調査したい
- ・若い人増やしたい
- ・実行委員にも若い人ほしい

まだまだ いっぱい書ききれないほど意見出たんです。みーんな前向きでこれからのまちセミをもっと盛り上げていこうという意気込みに溢れてました。

公約実現出来るように、1年後に向けて一步一步しっかり踏み固めていかないといけないなあと思えた時間でした。(嶋田)